

【第2次札幌新まちづくり計画 平成20年度進行管理評価結果】

『政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街』

重点課題1 水とみどりの保全・育成と創出

< 施策の基本方針 >

みどり豊かな美しい風格ある街並みの実現や清らかな水環境の維持・回復を図るため、市民や企業との協働により、みどりの保全と創出を進めます。また、人間の活動による環境負荷の減少に努め、水辺の保全やせせらぎを回復する取り組みを推進します。

事業費の進捗率

(H19決算額 + H20予算額) 5,772,001千円 / (計画事業費) 13,250,200千円 : 43.6%

施策別の主な取組内容

19年度(実績)

- 【施策1】みどりの保全・育成
 - ・特別緑地保全地区取得 約1.3ha、都市環境林取得 約3.6ha
- 【施策2】みどりの創出
 - ・道路緑化推進事業(街路樹補植1,700本、樹拡大19カ所など)
 - ・一家庭一植樹運動推進事業による苗木配布 約10千本、リラの花 香る街づくり事業による植樹本数 約4千本
 - ・さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 苗木10千本植樹(毎日新聞社と共催)
 - ・コミュニティガーデン設置数 1カ所
- 【施策3】水辺の保全・創出
 - ・協働による水生生物観察会や市民活動事例発表会の実施
 - ・有識者による札幌市河川環境基本計画の検討会開催(4回)
 - ・多自然川づくりによる散策路整備や意見交換会等の実施
- 【施策4】水とみどりを楽しむ心の醸成
 - ・市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等)
 - ・森林・公園ボランティア活動の拡充・促進
 - ・国際園芸博覧会(花博)開催の検討について、基礎調査を実施

20年度(予定)

- 【施策1】みどりの保全・育成
 - ・特別緑地保全地区取得 約1.1ha、都市環境林取得 約4.4ha
- 【施策2】みどりの創出
 - ・道路緑化推進事業(街路樹補植1,472本、樹拡大10カ所など)
 - ・一家庭一植樹運動推進事業による苗木配布 約10千本
 - ・さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 苗木3千本植樹
 - ・コミュニティガーデン設置数 10カ所
- 【施策3】水辺の保全・創出
 - ・協働による水生生物観察会や市民活動事例発表会の実施
 - ・札幌市河川環境基本計画の策定
 - ・多自然川づくりによる散策路整備等の実施
- 【施策4】水とみどりを楽しむ心の醸成
 - ・市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等)
 - ・森林・公園ボランティア活動の拡充・促進
 - ・花博構想について、市民アンケート調査を実施し、その上で開催誘致の是非を決定

市民・企業等との協働の状況

- 市民との連携、市民参加
 - ・さっぽろふるさとの森づくり事業：市民にとって親しみや愛情を持てる森づくりを進めるため、地域住民や企業、小学校児童らと協働による植樹活動を行っている。
 - ・北緯43°花香る北の街づくり事業：公共未利用地における地域主体の花壇づくり、市民による種からの花苗育苗の実施。
 - ・みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業：市民団体と連携によるイベント、ボランティア活動実施等、市民参加・連携を進めている。
- 企業等との連携・協働
 - ・さっぽろふるさとの森づくり事業：企業や団体等の苗木支援、植樹への参加があった。
 - ・北緯43°花香る北の街づくり事業：宿根草の寄附、宿根草の植栽、フラワーコンテナの維持管理・次年度以降の花苗の準備・植栽・維持管理
- 市民・企業等が参加しやすい環境づくり
 - ・北緯43°花香る北の街づくり事業：まちづくりセンターなどを通じた事業PR活動等
 - ・創成川通親水緑地空間整備事業：デザインの検討過程で、地元の方々との意見交換や、シンポジウム開催などを行っている。
 - ・多自然川づくりの推進：検討会の傍聴や、意見交換会等はインターネットホームページや地域の回覧板を用いて広く周知している。

評価(成果)と課題

- 【施策1】みどりの保全・育成
 - ・重要な樹林地を公有化することで、街から見える山並みや市街地に点在する緑地の保全に努め、将来にわたり良好な都市環境、景観の維持が図られた。行政主体の事業手法・制度のみならず、NPO、市民ボランティア、民間企業などの多様な主体の活動にも重点を置き、その活動の支援や協働などについて検討を行い、地域に親しまれているみどりを適切に保全・育成する必要がある。
- 【施策2】みどりの創出
 - ・公園緑地の整備をはじめ、市街地の街路樹整備、公共施設緑化や民有地緑化を進めた。また、市民と協働による花を活用した街の美化によって、コミュニティの醸成や、地域の個性をいかした街づくりを進めた。このほか、市民参加のもと森づくりを行うことで、みどりの創出に加え、市民の緑化・環境意識の高揚を図った。
 - ・地域で緑化活動や森づくり、公園緑地整備などの取組に市民がより参加できるようしくみや支援を進める必要がある。
- 【施策3】水辺の保全・創出
 - ・多自然川づくりを推進するため、札幌市河川環境基本計画の構成案を作成したほか、吉田川において市民参加で環境整備計画を策定した。札幌市河川環境基本計画や多自然川づくりによる河川整備に市民意見を取り入れることにより、市民の関心を高めていくことが必要である。
- 【施策4】水とみどりを楽しむ心の醸成
 - ・市民との連携等によるイベントを実施することで、市民が主体となった公園緑地の利活用促進が図られるとともに、ボランティア制度の見直しによって、より多くの市民参加が可能となった。また、花博開催に係る基礎調査・研究報告書が作成された。
 - ・市民・企業と連携・協働による取組を進めるためには、市民・企業のニーズを把握するとともに、活動のしくみや支援方法の充実を図る必要がある。また、花博開催の判断においては経済的効果に加え、環境保全などへの市民意識の向上効果なども検討する必要がある。

今後の重点取組

市民・企業との連携・協働による公園緑地の整備、地域緑化の推進や森づくりのほか、公園緑地の利活用の促進に取り組む。

主な達成目標の状況

達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H19(実績)
都市環境林面積(累計)	1,678ha(H22)	1,665ha	1,668ha
一家庭一植樹運動推進事業による植樹本数(累計)	59,300本(H22)	19,294本	33,661本
これまでの市民植樹祭での植樹本数(累計)	100,350本(H22)	56,350本	74,388本
コミュニティガーデン設置数(累計)	30カ所(H22)	-	1カ所
花を活用した管理を行う道路残地箇所数(累計)	10カ所(H22)	-	-
フラワーロードの延長、プランター(栽培容器)設置数	2,650m 230基(H22)	2,200m 130基	3,100m 230基
〔アマとホップのフラワーロード推進事業〕参加団体数	15団体(H22)	12団体	17団体
都心部における水とみどりの空間	1.9ha(H22)	-	-
白旗山の緑化	57,000㎡(H22)	-	57,000㎡
〔丘珠空港〕緑地整備の推進(告示供用面積)	10ha(H22)	4.1ha	4.1ha
〔東雁来第2土地区画整理地区内〕土地活用率(宅地建設など土地の利用が図られた割合)	30%(H22)	19%	22%
〔東雁来第2土地区画整理地区内〕公園・緑地面積	10ha(H22)	1.4ha	1.4ha
地域独自の水環境目標設定数(累計)	3件(H22)	-	-
〔合流下水道改善における〕吐口対策実施済数(累計)	22カ所(H22)	6カ所	13カ所
豊平川貯留管の整備進捗率	35%(H22)	-	-
雨水流出抑制に関する要綱等の策定	要綱等策定(H22)	-	他都市事例調査
多自然川づくり整備延長	5.5km(H22)	4.7km	4.8km
公園緑地ボランティア登録団体数(累計)	50団体(H22)	31団体	37団体
〔公園緑地〕利活用促進のためのイベント等実施数	100回(H22)	-	15回
〔校庭への〕植樹実施校数(累計)	30校(H22)	-	-
〔国際演芸博覧会〕開催誘致の是非決定	決定(H20)	-	-

主な施設・サービスの整備水準

該当なし

成果指標等の動向

